



編集発行：中津川市議会

住所：岐阜県中津川市かやの木町2番1号

電話：0573-66-1111

<http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp>

平成26年 中津川市議会 6月定例会



中津川市消防団・消防協会操法消防大会



リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会

----- 目 次 -----

- 発刊にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・②
- 主な議案・・・・・・・・・・・・・・・・③
- 常任委員会報告・・・・・・・・・・・・⑤
- 予算決算委員会報告・・・・・・・・⑥
- 特別委員会報告・・・・・・・・・・・・⑦
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・⑧

トピックス

里帰り出産ができます！

中津川市民病院では、平成27年4月よりこれまでの里帰り出産や分娩予約の制限を解除します。



議会だより発刊にあたって



議長 深谷 勲

中津川市議会では市民の皆様には議会の活動などをお知らせし、情報の共有・開かれた議会の実現を目指しています。この度、議会報編集委員会を設け、「議会だより」を発刊させていただきますことになりました。

従来は、広報なかつがわの中で二カ月にわたり本会議内容をお知らせしていましたが、今後は本会議ごと年四回発行することになりました。毎年行っている市民と議会の対話集会は、常任委員会活動の一部だけの報告でしたが、「議会だより」を発行することで特別委員会などの活動を詳しく皆様にお知らせすることができるようになりました。

この「議会だより」発行については、試行の段階であり、今後もっとわかりやすい内容にしていきたいと考えていますので市民の皆様からご意見などを戴きたく、よろしくお願い申し上げます。

『議会の構成』

議長 深谷 勲

副議長 鈴木清貴

監査委員 吉村久資

【常任委員会】

◆総務企画委員会

◎牛田敬一 ○伊佐治由行

鷹見憲三・深谷 勲・原 昌男

吉村卓己・田口文数・勝 彰

◆文教民生委員会

◎岡崎隆彦 ○片桐光朗

吉村久資・松浦高春・粥川茂和

三浦八郎・深谷明宏・大堀寿延

◆産業建設委員会

◎柘植達樹 ○佐藤光司

楯 公夫・鈴木清貴・鈴木雅彦

吉村俊廣・櫛松直子・吉村浩平

◆予算決算委員会（議員全員）

◎楯 公夫 ○吉村浩平

【議会運営委員会】

◎深谷明宏 ○粥川茂和

片桐光朗・伊佐治由行・鈴木雅彦

櫛松直子・田口文数・勝 彰

【特別委員会】

◆リニア中央新幹線対策特別委員会

◎勝 彰 ○櫛松直子

佐藤光司・伊佐治由行・鈴木清貴

粥川茂和・大堀寿延・吉村卓己

◆議会改革特別委員会

◎三浦八郎 ○田口文数

片桐光朗・鈴木雅彦・深谷明宏

原 昌男・柘植達樹・牛田敬一

◆新衛生センター及び汚泥処理対策特別委員会

◎吉村俊廣 ○松浦高春

楯 公夫・吉村久資・鷹見憲三

深谷 勲・岡崎隆彦・吉村浩平

（◎委員長 ○副委員長）

6月定例会は、繰越明許費繰越計算書等の報告2議案と議員提出の農業委員会委員の推薦議案を原案どおり可決し、一般会計補正予算など9議案を所管の委員会に付託し、原案どおり可決しました。

平成25年度中津川市 繰越明許費繰越計算書の報告

(全会一致)

下水道工事に伴う配水管改良工事2事業の報告です。

中津川市農業委員会委員の 推薦(議員提出議案)

(全会一致)

一般会計では付知町中央橋架替事業、本町街並み環境整備事業など24事業、下水道事業会計1事業、簡易水道事業会計2事業、農業集落排水事業会計2事業の繰越計算書の報告です。

農業委員会等に関する法律により、任期満了となる委員について中津川市長より推薦依頼を受け、学識経験

平成25年度中津川市水道事業 会計予算繰越計算書の報告

(全会一致)

道路改良に伴う配水管改良工事、

を有するものとして松浦高春氏、後藤展子氏、熊崎美保子氏、土屋厚子氏の4人を推薦するものです。任期は平成26年7月20日～平成29年7月19日の3年間となります。

○繰越計算書の報告とは

国の平成25年度年度末補正予算事業や平成25年度内完了予定事業が、天候の不順等で事業を翌年度に繰り越す必要がある場合、繰越事業の決定額(繰越計算書)を翌年の6月議会に報告するものです。

平成26年度中津川市一般会計、 簡易水道事業会計、 病院事業会計補正予算

(全会一致)

常任委員会報告の予算決算委員会を参照してください。

財産の取得

(全会一致)

現有のはしご車の老朽化に伴い、屈折はしご消防ポンプ自動車1台を取得するものです。
契約金額 1億2千42万円

市道路線の変更

(全会一致)

市道中津163号線は、終点を市道485号線に接続するための路線延長の変更です。
市道中津415号線は、一般交通の用に供していない路線の一部廃止を行うものです。

中津川市火災条例の一部改正

(全会一致)

消防法施行令の一部改正等に伴い、屋外において一時的に一定の場所に不特定の人が集まり、火災発生時に危険性が高くなる催しを主催する者等に対して、火災予防上必要な業務等を定めるため改正するものです。



女性消防団員募集!



中津川市税条例の一部改正

(全会一致)

地方税法の一部改正に伴い、①法人税割の税率を2・6%引き下げる。②肉用牛の売却による事業所得の課税の特例に係る適用期間を3年間延長する。③公害防止施設・設備に係る固定資産税の特例措置の割合を条

例で制定する「わがまち特例」を導入する。④軽自動車税(原付・二輪車・軽自動車・小型特殊自動車等の税率1・5倍など)を引き上げる改正です。(左表を参照)

①法人税割の税率

14.7% → 12.1% (△2.6%)

②肉用牛売却事業所得の課税特例期間

現行：平成27年度まで → 改正後：平成30年度分までの市民税に適用

③公害防止施設・設備に係る固定資産税特例率

浸水防止用設備、ノンフロン製品、汚水又は廃液処理施設、排出抑制施設、特定有害物質排出抑制施設が対象

④軽自動車税引き上げ (現行) (改正後)

50cc以下	1,000円	→	2,000円
50cc超90cc以下	1,200円	→	2,000円
90cc超125cc以下	1,600円	→	2,400円
ミニカー	2,500円	→	3,700円
軽二輪	2,400円	→	3,600円
小型二輪	4,000円	→	6,000円
自家用四輪乗用	7,200円	→	10,800円
自家用四輪貨物	4,000円	→	5,000円
小型特殊農耕用	1,600円	→	2,400円



日頃の訓練の成果を発揮する消防団員

中津川市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

(全会一致)

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、最低支給額(団員5年勤務)の引き上げ等、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令別表に合わせるための改正です。(下表を参照)

改正後の退職報償金支給

(単位：円)

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長班長	団員
5年以上10年未満	239,000	229,000	219,000	214,000	204,000	200,000
10年以上15年未満	344,000	329,000	318,000	303,000	283,000	264,000
15年以上20年未満	459,000	429,000	413,000	388,000	358,000	334,000
20年以上25年未満	594,000	534,000	513,000	478,000	438,000	409,000
25年以上30年未満	779,000	709,000	659,000	624,000	564,000	519,000
30年以上	979,000	909,000	849,000	809,000	734,000	689,000

常任委員会報告

◆総務企画委員会 4月16日

【所管事務調査】（総務部・企画部）

○行財政改革の取組について

新総合計画の基本構想と将来目標選択と集中による行財政運営を行う。

目標と成果を重視し、経営効率を進める。

重点施策

- ・行政コストの徹底的な縮減
- ・市有財産（土地・建物）運用管理マスタープランの策定と実施
- ・クアリゾート湯舟沢の民営化
- ・第3セクターの抜本的な改革と検討
- ・アウトソーシングの推進

進捗状況と今後

- ・国、県の補助金を有効に活用
- ・借金を減らす
- （平成16年度末から約282億円減少）
- ・計画的な繰上げ返済
- ・総人件費を抑制
- ・施設の統廃合を進め経費を抑制
- 総務部・企画部における課題を全職員が共通認識を持って取り組む。

◆文教民生委員会 1月27日

【所管事務調査】（生活環境部）

○中津川市地域防災計画の現状について

地域防災計画の主な内容

・基本方針

- ① 自助、共助、公助により地震、土石流、風水害に備え、災害に強いまちにしていく

・防災対策

- ① 共通予防対策・・・自然災害に備え、予防、地域防災力の向上を図る
- ② 風水害等対策・・・河川の氾濫等土石流の発生に対して被害を最小限にする。
- ③ 地震災害対策・・・東南海、南海地震の発生にも被害を最小限にする
- ④ 事故災害対策・・・航空機、鉄道事故、林野火災等に迅速円滑な対策を行う。

現地視察

防災無線局、坂本事務所等の遠隔操作機

◆産業建設委員会 4月14日

【所管事務調査】（商工観光部）

○中津川市健康温泉館

クアリゾート湯舟沢について

・現状

現在、中津川市が約半分、その他を市内の民間企業が株式を保有する第三セクターで運営している。

開業から約19年が経過し、その間規模な改修が行われていないため、機械、設備機器などの改修・更新も必要である。

当面は、お客様の安心・安全などを最優先とした施設内改善が急務である。

・今後の取り組み

- ① リニア開業を見据えて観光客誘致という観点からも、将来は民間へ譲渡していきたいと考えている。
- ② 天井及びダクト改修、浴室ロッカーの更新などを行い、来年度以降は、設備機器等の改修・更新を行っていきたい。

*天井及びダクト改修、浴室ロッカーの更新などは6月に完了しました。

予算決算委員会報告

平成 26 年度 6 月補正予算の概要

下記の 4 つの編成方針により、補正予算が計上されました。

- 国・県等の補助金獲得に伴う事業
- 国からの交付金を活用して実施する事業
- 寄附金を財源とする事業
- 緊急対応が必要な事業

予算決算委員会は、議員全員による常任委員会です。

■補正を行う会計

●一般会計	230,819千円
●特別会計	
・簡易水道事業会計	1,500千円
●企業会計	
・病院事業会計	0千円（財源内訳の変更のみ）
合 計	232,319千円

国・県等の補助金獲得に伴う事業

自然共生地域づくり事業
地籍調査事業
自主防災組織事業
人権教育研究推進事業
防災キャンプ推進事業
地域少子化対策強化事業

国からの交付金を活用して実施する事業

道路維持補修事業
道路新設改良事業・・・写真①
交通安全施設設置事業・・・写真②
公共施設整備運営基金積立金
消防設備整備事業・・・写真③

寄附金を財源とする事業

高齢者福祉施設等運営事業
病院設備整備事業【病院事業会計】
小学校教育充実事業
郷土かるた普及事業
市民国際交流事業
蔵書充実事業
公民館事業
文化財保護事業

緊急対応が必要な事業

消防団員事業
簡易水道整備事業
【簡易水道事業会計】



①松源寺～大西線（中津）



②堤下～野畔線歩道整備（坂本）



③消防ポンプ自動車等購入

特別委員会報告

◆議会改革特別委員会 3月28日

○中津川市議会基本条例・

政治倫理条例を制定

3月定例会で「中津川市議会基本条例」が全会一致で可決されました。この条例は、議会及び議員の責務、議会や議員の活動原則など議会に関する基本的事項を定めるものであり、議会の憲法と云われています。中津川市議会では市民に対して説明責任を果たす「開かれた議会」「分かりやすい議会」づくりを進め、市民との活発な意見交換を図り、市民本位の政策立案や政策提言に努める「市民の参加する議会」を目指しています。

この議会基本条例の特筆すべきところは、市民に分かりやすさを目指して、「です」「ます」調としているところです。障がいのある議員の自己決定を尊重するとともに議会活動を保障することを定めていることや全ての項目について多数決ではなく、全議員の賛成を得た上で決められてきたことがあげられます。この基本条例が制定され、議員が選挙によって選ばれた市民の代表者であるという基本原理

を自覚し、合議体である議会の議員一同がこの条例を遵守して、議会活動に取り組むことにより、中津川市政の発展に繋がるものと確信しています。

また、「中津川市議会議員政治倫理条例」は、議員が政治倫理の確立と向上に努め、主権者である市民の負託に応え、良心と責任感をもって政治活動を行い、公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的として定めるものです。

この二つの条例制定までには、平成18年より議会運営委員会で検討が始まり、平成21年に議会改革特別委員会を設置し、数多くの委員会・協議会を開催しました。

◆新衛生センター及び

汚泥処理対策特別委員会

6月23日

○建設候補地の現地を視察

・場所：福岡字山ノ田(上之平地区)
(福岡クリーンセンターから松島川の対岸)

経過報告

- ・地元説明会
各地区で37回開催
- ・候補地選定委員会

先進地視察等を含め10回開催
建設地の選定は、地権者や周辺住民の皆様のご理解とご協力を得ることが最優先事項であると考えているとの説明があった。



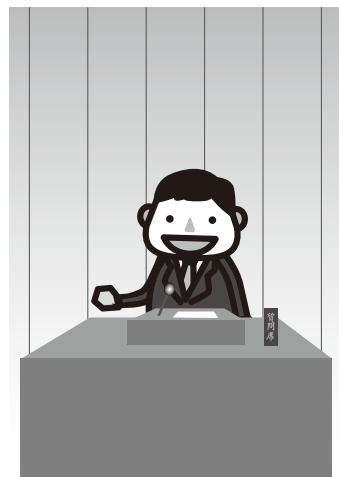
特別委員会による現地視察

一般質問 ここが知りたい！

一般質問では、定例会で議員が議案に関係なく市政全般について、市の考えをたずめます。

6月定例会では、13人の議員が多くの質問を行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録(9月初旬公開予定)」をご覧ください。



答

地元の方々と意見交換しながら、地域と連携して観光資源の手入れなどを計画的に進めることで、地域の人に誇りを持つていただくとともに、シテイプロモーションのひとつとしてPRを図ってまいります。ストーリー性やテーマを持った観光ルートを組み立てるとともに、他地域の観光資源との連携にも取り組めます。例えば苗木城から城下町への誘導や夜明けの森、二ッ森山までを体験できるように展開して参ります。

(商工観光部長)

問

昭和27年以降、苗木の地を活用した観光戦略を考えたことは無かったように思います。仲間由紀恵さん演じる白蓮さんの歌碑があることから更に注目され、海外の若い女性も訪れるようになった苗木城趾等や城下町である本町・高峰湖等苗木地域には豊富な観光資源があると思います。更には恵那峡観光等と連携をすることにより、多くの観光客を魅了することが出来ると思います。今後、いかなる戦略でこれらを活用されますか。



鈴木 雅彦

柳原白蓮さんの歌碑から「苗木」の歴史と文化を活用した観光戦略について

答

車両基地を観光資源として活用するための非常に有効な方策の1つであると思っておりますが、市単独では実施困難な事業でありますので、JR東海や県と連携するとともに働き掛けをしていきたいと考えております。

(企画部長)

問

全世界でたった一つの地域資源、それはまさしくリニアの車両基地です。秋葉原がアニアの聖地であるように中津川がリニアの聖地と呼ばれるよう車両基地を観光資源として活用しなければなりません。県の戦略で提案されているリニアの見える丘公園構想と合わせて、中津川へ訪れる人々にもっと楽しく、もっと面白くリニアが理解できる「リニアミュージアム」の様な観光の核として施設の建設を進めるべきだと思います。見解を伺います。



鷹見 憲三

リニアのまちづくりについて



吉村 浩平

中心市街地の活性化について

問

リニア開業を見据えたまちづくりのなかでも中心市街地の活性化は大切な要素であり、対外的なPRとしては中津川市の顔であるJR中津川駅を中心としたエリアのにぎわいによるところが大きいと考えます。

私は中津川市の中心市街地には、やはり中津川市の主要施設があり、その施設を中心とした「まちのにぎわい」を創出する必要があると考えますが、いかがですか。

答

将来リニア駅に降り立った観光客が中心市街地を目指して来て頂けるよう、宿場町として栄えた姿や雰囲気づくり、安全・快適に回遊できる環境の整備を行い、中心市街地の魅力を向上させたいと考えています。

そのためには新町ビル跡地だけでなく、もう少し範囲を広めた中で、行政施設にこだわらず民間も含めた複合的な活用策として、市街地活性化対策庁内検討委員会を中心に引き続き検討しているところです。

(市長)



牛田 敬一

ごみの減量化について

問

市民サービスに係るコストを見直す時期に来ていると考えます。2012年度の中津川市の一人一日当たりのごみ排出量は1058gで岐阜県21市中ワースト2でした。

①2013年度に行ったごみ減量対策と効果を伺います。
②昨年、有料化を検討すると答弁されましたが、その後の見解を伺います。

答

①資源分別回収奨励金事業やエコキャップ運動、ダンボールコンポストのPRのほか、広報なかつがわにより、ごみ減量に関する周知啓発を実施しましたが、効果として十分現れませんでした。今後は、積極的なごみ減量対策を行い、大幅な削減に繋げていく必要があると考えます。

②今年度、市民皆様の参加による、中津川市ごみ減量検討市民会議を設置して、ごみの現状や課題などを分析し、減量や有料化についてご意見をいただき、検討を行ってまいります。

(生活環境部長)



片桐 光朗

ペレットの利用拡大で雇用の場を拡大するについて

問

木質バイオマスのうちペレットについては、間伐材等を利用し、市内で製造販売して雇用の場を作るようにできないかと考えます。調べてみると、ボイラーの設置費は高いが維持費、人件費が安く、長期的には安価とのこと。改修予定の市庁舎や文化会館などで、冷暖房に使用すれば需要が一定確保できるのではないかと考えます。木質ペレットの製造について、産業として成り立たせることを検討していただけないでしょうか。

答

木質バイオマスの普及促進を図る上では、原材料の生産コストを縮減することが重要です。そのためには、木質バイオマスの普及・啓発を図るとともに、低コストの原料生産が行えるような生産体制を組み立て、雇用の拡大に繋がるよう検討していきます。

また、原料となる木材を、林地から搬出することはコスト面でのデメリットが多く、産業として成立するかは検証した上での判断が必要であると考えます。

(農林部長)



田口 文数

地域包括ケアシステム計画について

問

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムの構築が重要と考えます。①認知高齢者の2025年までの推計を伺います。②高齢者・独居世帯数と高齢化率の将来推計を伺います。③医療と介護の連携を進める事が重要であり、医師会と在宅医療介護との連携は行われていますか。

答

①2025年までの推計は行っていない。今後、後期高齢者の増加に伴い、認知症高齢者の増加が予測されます。②平成26年4月1日現在、高齢者世帯は3687世帯、独居世帯は3834世帯です。高齢化率は29・2%で、人口問題研究所調べでは2025年の当市の高齢化率は35・4%と推計されています。③今年度、恵那医師会が県から委託を受けた地域在宅医療連携推進事業に医師会、関係団体、行政が連携して取り組んでいます。(健康福祉部長)



原 昌男

濃飛横断自動車道の計画は、
既設道路利用に変更されるべきについて

問

県道苗木恵那線美恵橋西詰から中原交差点に至り、信号を左折して約500mでサクラメントに至ります。そこを右折しJR在来線北側及び千旦林川に沿って500mほどの道路新設でリニア駅に至ります。この案なら住居の買収、立ち退きなしが可能です。またほとんどの区間に歩道が附帯して高規格道路に近く、このようにして既設道路で県及び市北部地区からのリニア駅へのアクセスは容易です。このことをどのように考えますか。

答

お示しいただいた現道は、この地域の生活道路としての機能を担う道路です。一方、濃飛横断自動車道は、広域の道路ネットワークを担う道路であり、この両者の機能を分担させることで通過交通と生活交通の混在を防ぎます。技術論として、既設道路を利用したアクセス道路計画とすることは、生活道路の渋滞等、交通環境の悪化や通学児童など歩行者の安全性の低下などが危惧されるため避けるべきと考えます。(基盤整備部長)



粥川 茂和

農業振興施策について

問

当市の農業振興における課題を解決するための施策が充分でないと思います。地域の議論で策定した地域農業振興計画と中津川市総合計画の実施計画との調和を図った農地、農業を守り育てる実効性のある農業政策について、どのように策定するのか伺います。

答

農業振興ビジョンの基本理念である「安全・安心な食の提供、活力ある農業・農村づくり」に基づき、地域で提案された事業等を市の基幹となる総合計画と方向性を合わせた事業計画としてまとめます。(農林部長)





伊佐治 由行

公立病院改革と今後のあり方について

問

中津川・坂下両病院とも社会・経済情勢、医療政策の変遷の中、医師や看護師不足、病院経営の財政悪化など課題は山積しています。地域において真に必要な医療提供体制を確保するため、病院改革を通じ、公・民の適切な役割の下、安定した経営と良質な医療提供が求められています。2025年問題、リニア時代を見据えた中津川市の医療政策をどのように捉え考えているのか、そのビジョン、あり方を伺います。

答

地域に必要な医療提供体制の確保を図り、東濃東部の総合病院、中核病院の役割・機能を継続できる体制を作る必要があります。2025年には高齢化率が35%を超えるため、生活習慣病、健康づくり、慢性期・介護療養型医療を充実させていきます。リニア時代を見据えた若者の定住促進のためには、出産、小児科医療、救急医療などの充実も必要です。2025年を見据え、医療機関の役割分担、連携、地域包括ケアを推進していきます。

(市長)



勝 彰

『子どものいじめ』『大人のいじめ』について

問

子どもは大人社会の反映です。大人が変われば子どもは変わる、子どものいじめをなくすために、大人のいじめを根絶しないと根本的な解決は出来ないと考えます。①大人のいじめに対して、どのように考えていますか。②大人のいじめをなくすために、どのようなことを行いますか。

答

①大人のいじめにつきましても、やはり弱者に対する思いやりの心、こうしたところを今一度醸成していくことが必要であると思います。一言で言えば、「道徳観」が非常に重要であると考えているところです。

(市長)

②いじめは、あらゆる人権侵害の根源と捉え、子どものいじめ防止と大人のいじめ防止の双方を啓発できるようにいじめ防止リーフレットやステッカー作成を考えています。広報なかつがわや学校配布物で啓発を進めてまいりたいと考えています。

(生活環境部長)



櫛松 直子

子ども・子育て支援制度について

問

平成24年に成立した子ども子育て三法を背景に、現在国が進めている子ども・子育て支援新制度が導入されると、中津川市の幼児教育や保育などに、大きな影響があると考えられます。

保育園、幼稚園、放課後児童クラブなどの利用について、新制度導入で費用や手続きなど変更になることはありませんか。

答

保育園は、入所手続きに「保育の必要性の認定」が加わり、保育時間も親の就労時間により、保育短時間（8時間）と保育標準時間（11時間）の二区分となりました。

幼稚園は、利用料金が現在の定額から、所得に応じた応能負担となります。いずれも、保育や教育の内容については、大きな変更はないと考えています。

放課後児童クラブは、設備運営基準を市が条例で定めるようになったことです。利用者にとっては、大きな変更はありません。

(教育委員会事務局長)



佐藤 光司

中津川における戦後70年を迎えることについて

問

戦後70年を迎え、戦争体験者が希少の中で、語り継ぐ経験や戦争の遺品など、後世に平和の尊さを伝える義務感が必要と考えます。

①市として戦争の歴史についての考えを伺います。②坂下町史の満蒙開拓団は、どのように伝えますか。③戦争体験者が少なくなっていますが、記録や資料はどうなっていますか。

答

①恒久平和は、人類共通の願いであり二度と戦争の悲劇が繰り返されないよう、その歴史を次の世代に語り継いでいくことが重要な使命と考えております。

(総務部長)

②満州開拓団に関する貴重な戦争関連資料は、保存整理し、後世に伝え遺していくとともに、機会あるごとに公開を行ってまいります。

③戦争体験記録は旧市町村史や記録冊子等に収められ市立図書館等に所蔵されています。千人針、軍隊手帳等の資料については、苗木遠山史料館等に収集保存され、大切に保管されています。

(文化スポーツ部長)



松浦 高春

中津川市の多様な地域資源の活用について

問

根ノ上高原展望台は、リニア新幹線の駅と車両基地が展望でき、新たに出来る青木斧戸線、濃飛横断自動車道やJR中津川駅・美乃坂本駅、星ヶ見公園、苗木城跡など市街地、坂本・苗木地域を眼下に収められます。また、二ッ森山、笠置山麓、御嶽山まで見ることが出来る素晴らしい眺望の展望台です。しかし、立木がこの眺望を妨げていることや案内標識等の改善が必要と思います。展望台に関する改善計画を伺います。

答

展望台の存在はあまり知られておらず、観光客への案内が分かりづらくなっています。

この場所は市内が一望できる素晴らしい展望スポットですので、導線看板、展望施設があると訪れた人には、喜んでいただけると思います。改めて現場を確認の上、順次整備していきたくと考えています。

(商工観光部長)

苗木城跡から市街地を望む



平成26年9月定例市議会の日程

9月1日(月) 10時	本会議
9月10日(水) 10時	本会議(一般質問)
9月11日(木) 10時	本会議(一般質問)
9月16日(火) 10時	総務企画委員会
9月17日(水) 10時	文教民生委員会
9月18日(木) 10時	産業建設委員会
9月19日(金) 10時	予算決算委員会
9月26日(金) 10時	本会議

編集後記

中津川市議会は、民主的なまちづくりを実現し、効率的な行政運営を図るために市民の皆さんとの連携や日頃の議会活動を知っていただき身近な議会になることを目指しております。

これまで、議会基本条例を制定するために多くの課題を論議し、「一問一答方式」「対話集会の開催」「委員会等の公開」等に取り組んできました。「議会云々」については、昨年10月に編集委員会を立ち上げ、発行に向けた調査・研究を行ない、議員手づくりで発行することができました。

これからも、市民の皆さんに分かりやすい広報を目指してまいります。

編集委員

- 委員長 鈴木清貴
- 委員 岡崎隆彦
- 委員 吉村浩平
- 委員 牛田敬一